

ついであいご



松前町長

白石 勝也

松前町の皆さん明けましておめでとうございます。元気で新しい年をお迎えのことと存じます。

昨年は、松前町の町制施行50周年の様々な行事に大勢の住民の皆さんに参加していただき、おかげさまで次への飛躍の足がかりができました。ありがとうございます。

また、松前町は昨年を改革元年と位置づけ、皆さんにもご負担増や様々な補助金の廃止、削減をお願いしました。もちろん役場の職員も自らできることはやるということを徹底させてきました。私を含む特別職の給与の削減や収入役の廃止のほか、議員の皆さんも自らの給料の削減に取り組んでくださいました。おかげさまで、16年度も1億円近く歳出を削減することができましたし、17年度も目標とする2億5000万円の歳出削減が図れる見通しです。

しかし、国の三位一体の改革などの影響で歳入の確保が厳しく、町の貯金である財政調整基金を取り崩さざるを得ない状況です。こうした財政状況のもと、今年も引き続き改革を進めてまいりたいと考えています。

また、私は新年にあたり、我が「ふるさと松前町」がこれからも未来に向けて住みやすい町であり続けるため、災害に強い町づくりに取り組むことが何よりも大事であるとの思いを強くしています。

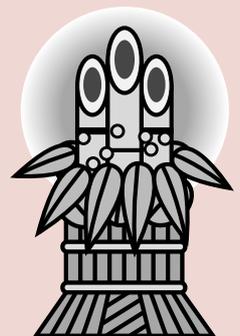
ふるさとの偉人、義農作兵衛翁が自らの命を投げ出して後世の人々のために麦種を残したその精神を、今こそ私たちが災害に強い町づくりに活かすときだと思えます。

日本では毎年のように各地で地震が発生し、その度に大きな被害をもたらし、住む所さえ奪われることがあります。特に、今から30年から40年以内にかんりの確率で発生が予想される南海・東南海地震を考えたとき、今から備えに着手しなければならぬと思えます。

私たちは今、物質的には豊かな文明社会に生活しています。しかし、こうした生活も安全に安心して暮らせる町があるからこそできるのです。そして、これからも同じように安心して暮らせる町であり続けるために、今から災害に強い防災町づくりに着手することが重要であります。そのためには、莫大なお金が必要で、今から少しずつでも基金を積み立て、あわせて防災町づくりプランをつくって準備を始めたいと思えます。

そして、皆さん方のお子さんやお孫さんがずっとこの松前町に住み続けられるように、私たち大人が全員、現代の義農作兵衛翁になりたいと思うのです。これが私の今年の初夢です。そして、私はそれを夢で終わらせることなく、第一歩を踏み出したいと思っています。どうぞ皆さんも、防災町づくりについてご意見をお聞かせください。

今年一年が、皆さんにとって素晴らしい年でありますようにお祈りします。



謹んで

新年のお慶びを

申し上げます

助役

佐伯 和雄

教育長

赤星 皓一

